

2022年3月期 第2四半期決算

2021年11月12日

CKD株式会社

証券コード 6407

CKD

2022年3月期第2四半期

- 決算概要
- 投資
- 株主還元
- トピックス
- 企業価値向上に向けた取り組み

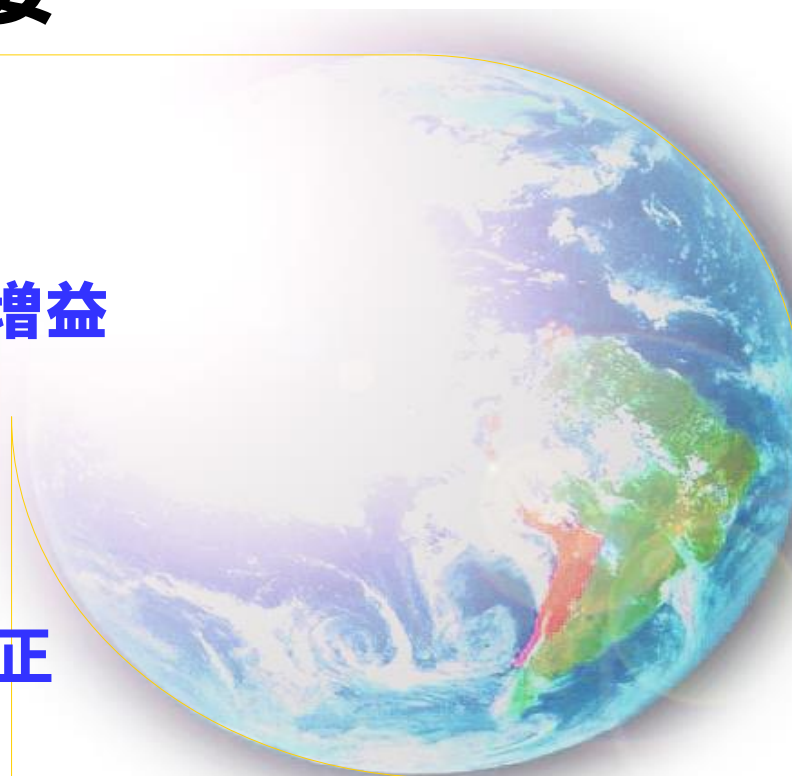
第2四半期決算概要

■ 実績

- ・ 前年同期比、増収増益

■ 業績予想

- ・ 通期予想を上方修正



経営成績

(単位：億円)

	'22/3月期 上期修正予想	'22/3月期 上期実績	予想対比	'21/3月期 上期実績	前年同期比		
					増減額	増減率	
売上高	全体	665	678	+ 13	499	+ 179	+ 36%
	自動機械	75	72	▲ 3	76	▲ 4	▲ 5%
	機 器	590	606	+ 16	423	+ 183	+ 43%
営業利益 (営業利益率)	85 (12.7%)	86 (12.7%)	+ 1	24 (4.8%)	+ 62	+ 257%	
経常利益	85	87	+ 1	25	+ 62	+ 250%	
四半期純利益	59	61	+ 2	16	+ 45	+ 276%	

財政状態

(単位:億円)

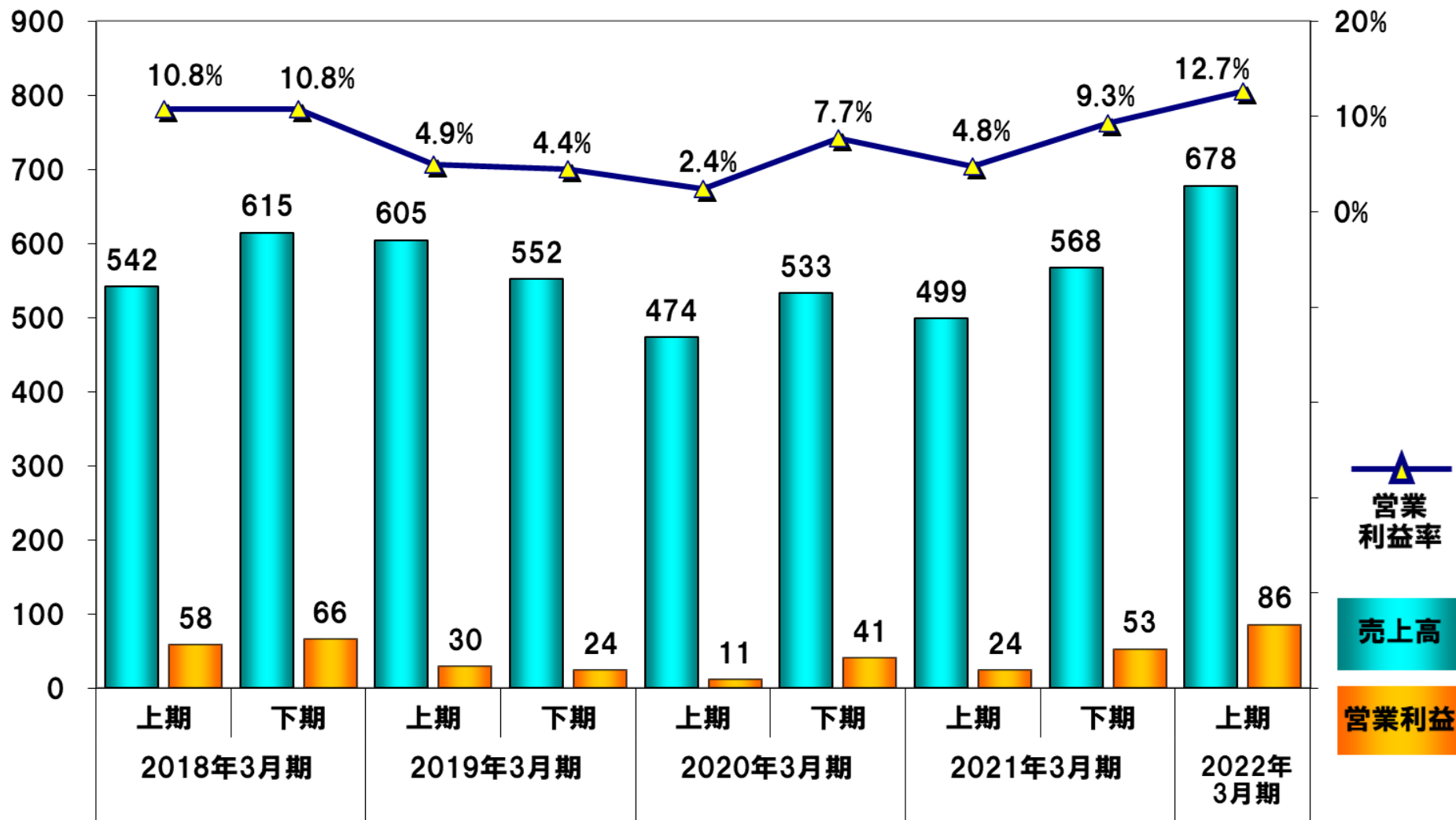
	2021年3月末	2021年9月末	前期末比	
			増減額	増減率
流動資産	1,018	1,122	+ 104	+ 10%
固定資産	509	519	+ 9	+ 2%
資産合計	1,527	1,640	+ 113	+ 7%
流動負債	416	496	+ 80	+ 19%
固定負債	135	118	▲ 17	▲ 12%
負債合計	551	614	+ 63	+ 11%
純資産	976	1,026	+ 50	+ 5%
自己資本比率	63.8%	62.5%	-	▲ 1.3%

全社 業績推移

2022年3月期	売上高	営業利益	営業利益率
上期実績	678億円(+179)	86億円(+62)	12.7%(+7.9)

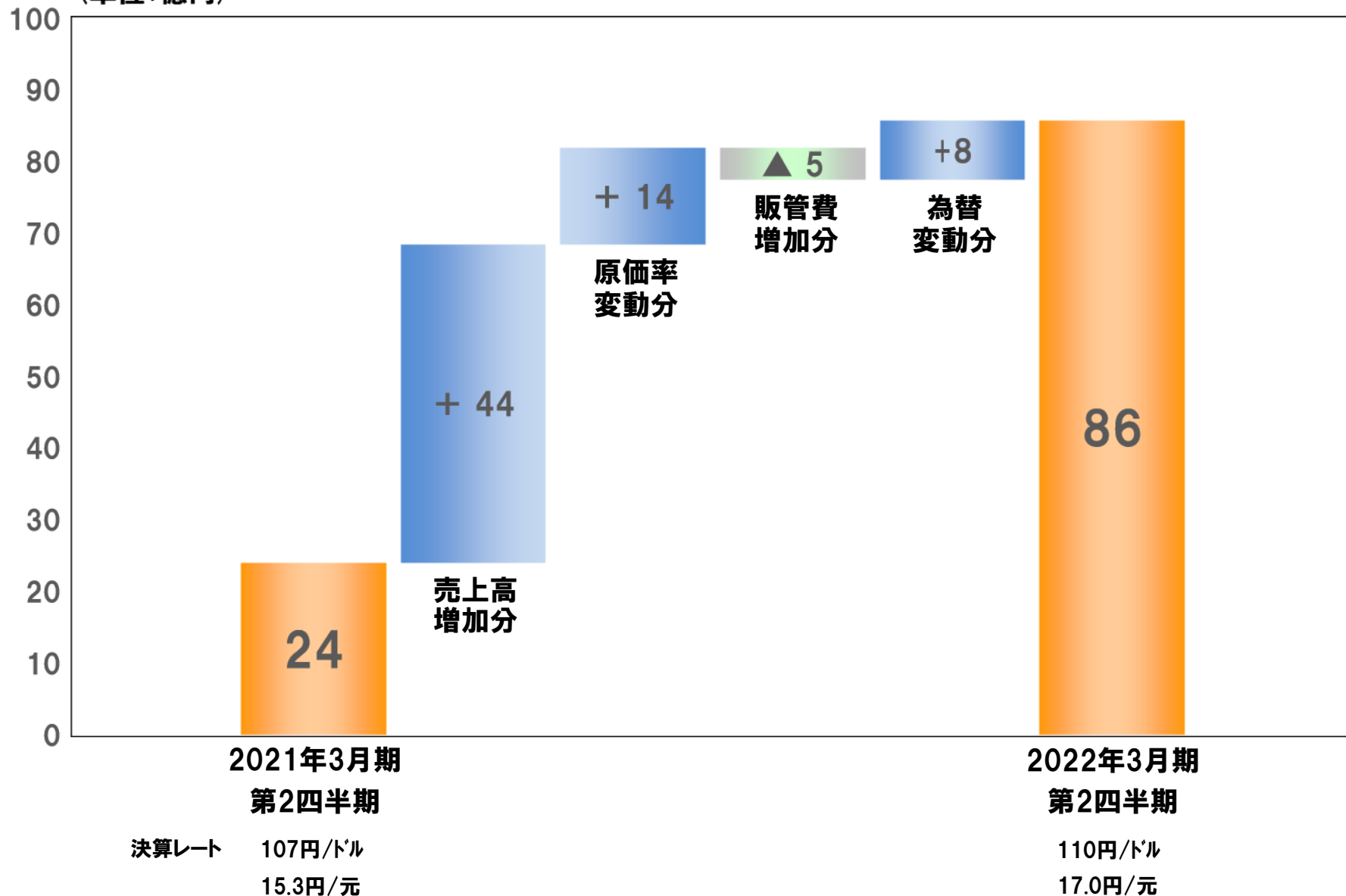
() は前年同期比

(単位：億円)



営業利益変化要因

(単位:億円)

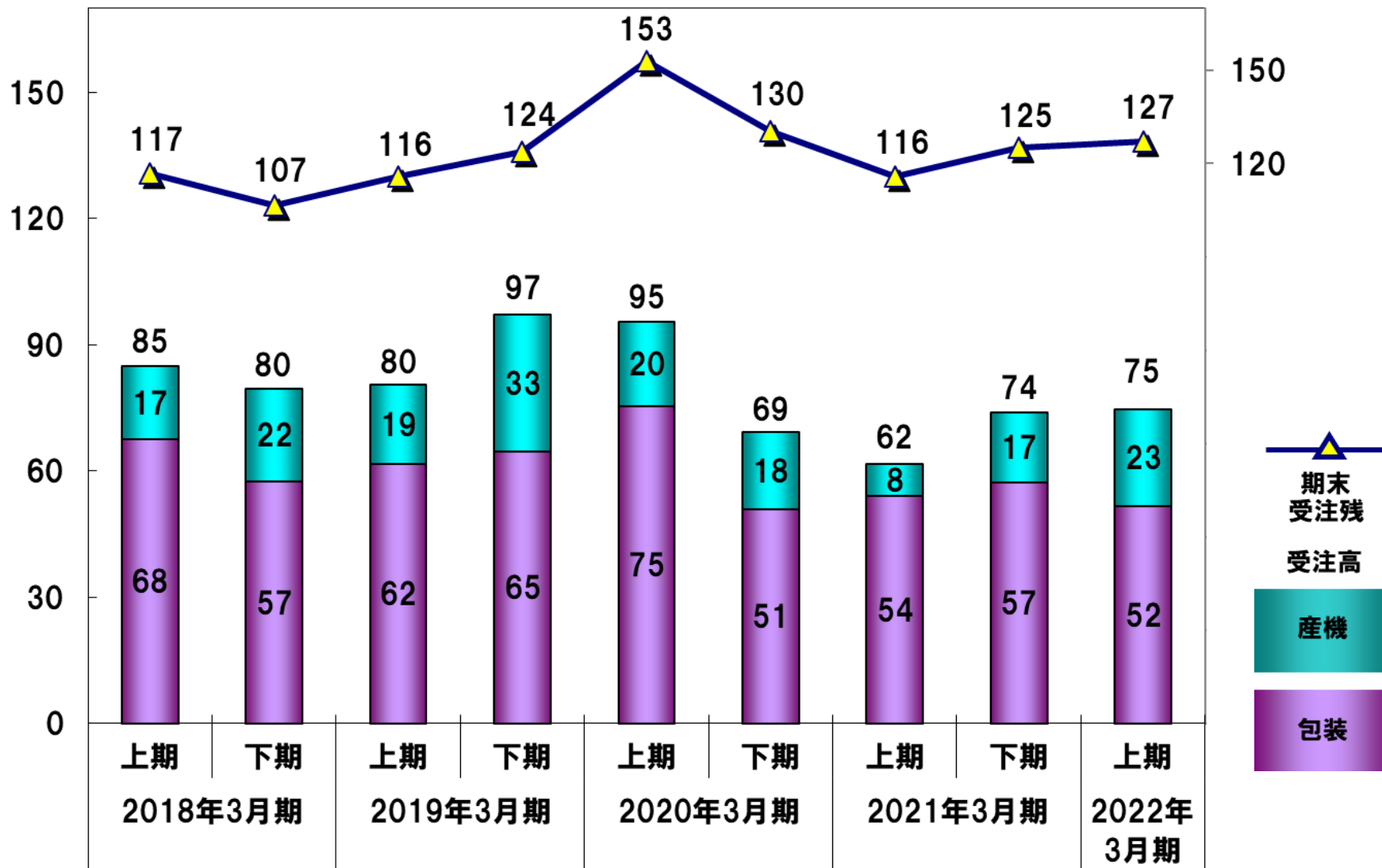


自動機械 受注高・期末受注残高推移

2022年3月期	受注高
上期実績	75億円(+13)

() は前年同期比

(単位：億円)

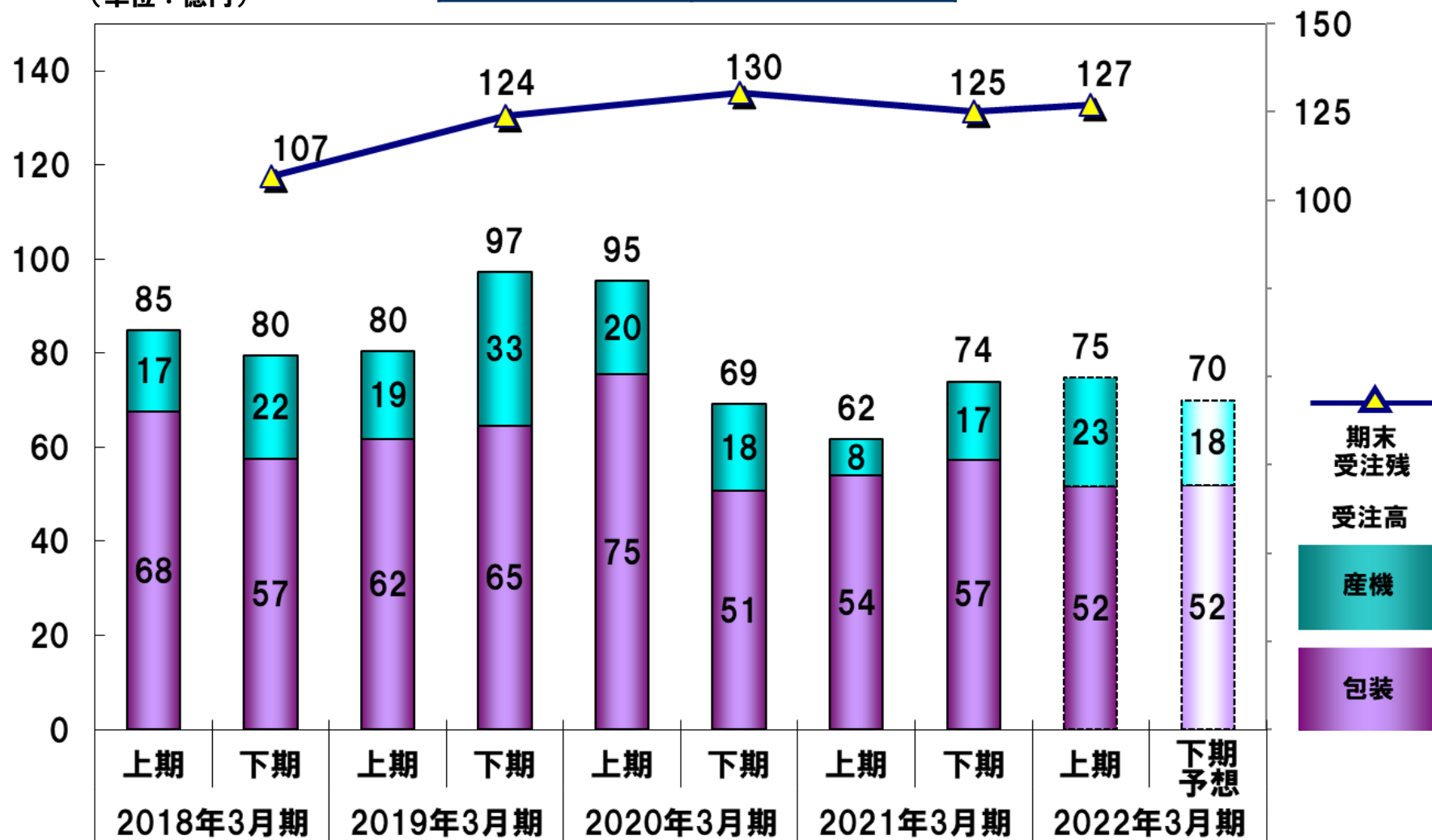


自動機械 受注予想

2022年3月期	受注高
下期予想	70億円(▲4)
通期予想	145億円(+9)

() は前年同期比

(単位：億円)

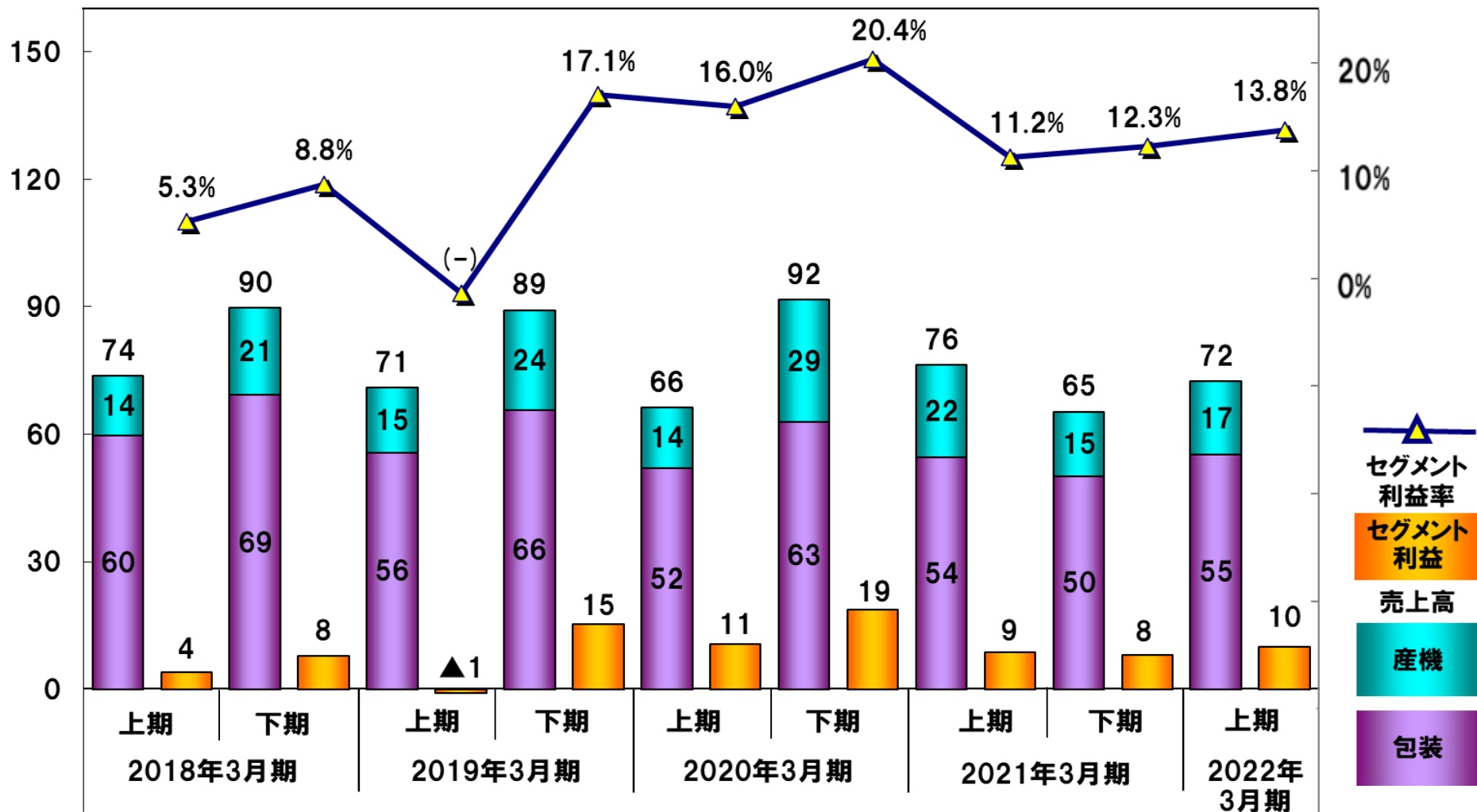


自動機械 業績推移

2022年3月期	売上高	セグメント利益	セグメント利益率
上期実績	72億円(▲4)	10億円(+1)	13.8%(+2.6)

() は前年同期比

(単位:億円)

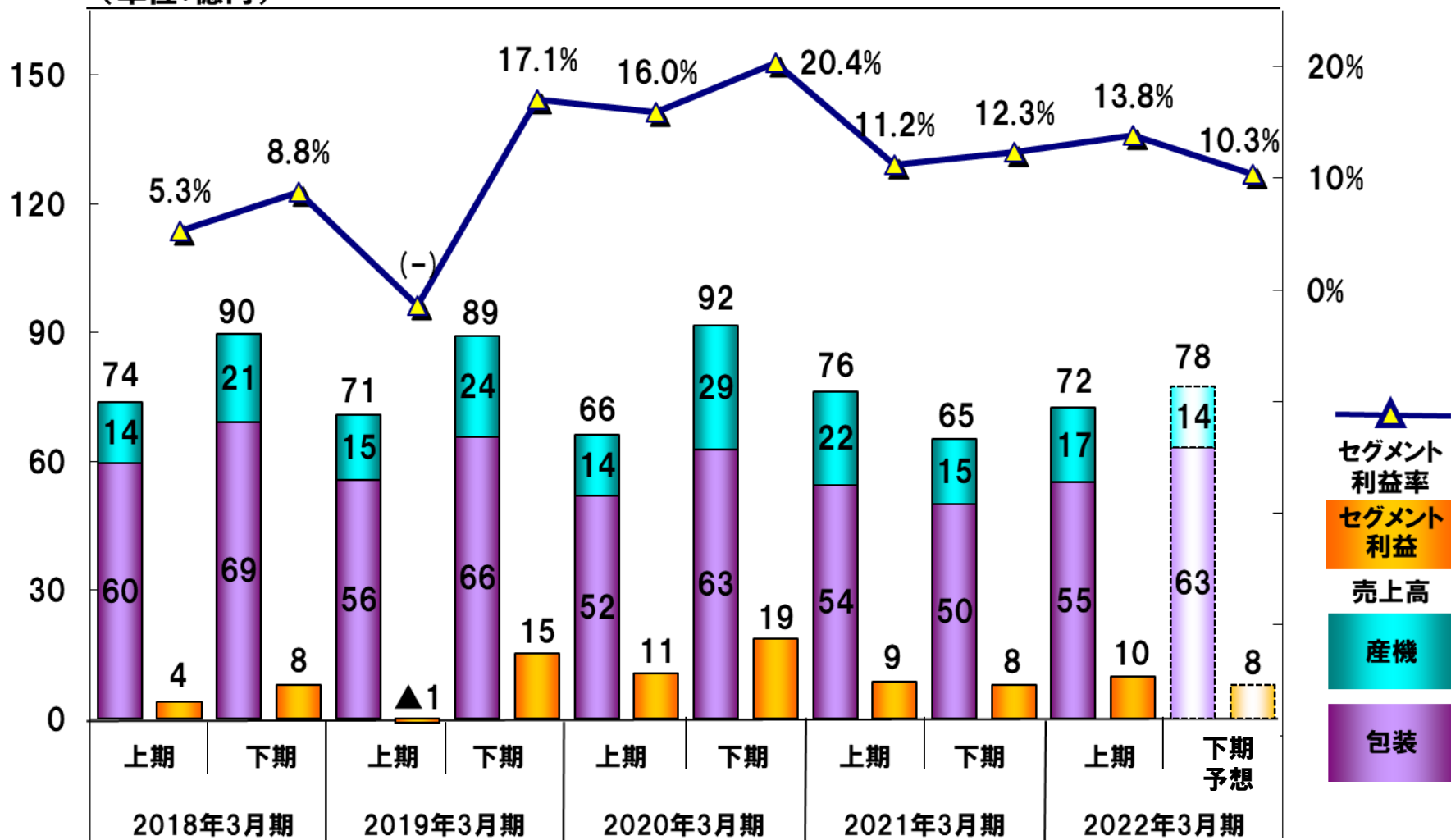


自動機械 業績予想

2022年3月期	売上高	セグメント利益	セグメント利益率
下期予想	78億円(+13)	8億円(▲0)	10.3%(▲2.0)
通期予想	150億円(+8)	18億円(+1)	12.0%(+0.3)

() は前年同期比

(単位:億円)

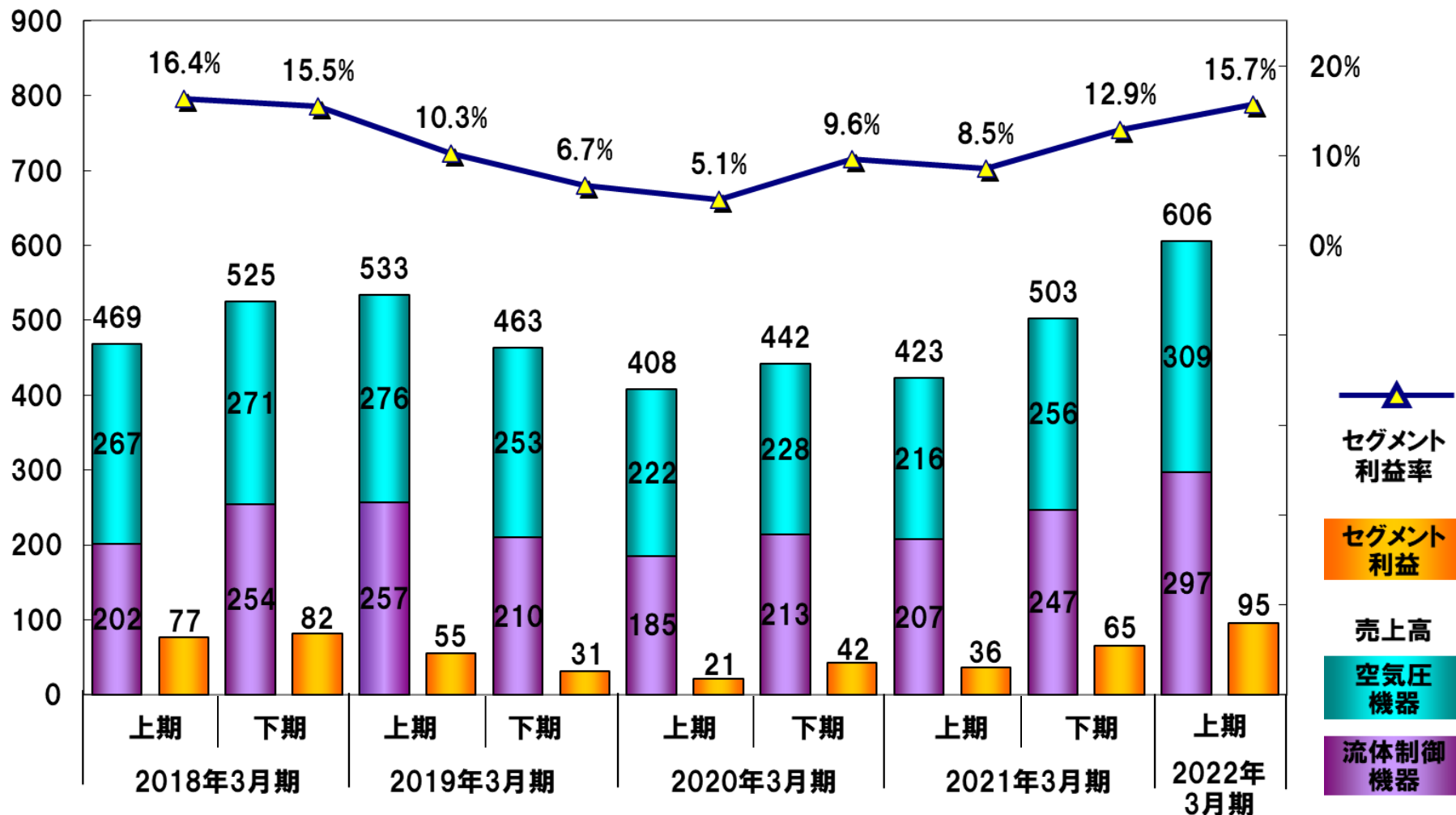


機器 業績推移

2022年3月期	売上高	セグメント利益	セグメント利益率
上期実績	606億円(+183)	95億円(+59)	15.7%(+7.2)

() は前年同期比








(単位：億円)







機器 市場別 上期実績

※前年通期実績比

(単位:%)

国内主要業種別	1Q予想 (5/13)	2Q予想 (8/11)	1Q実績	2Q実績	上期実績
半導体	126		133	146	139
自動車	105		118	111	114
工作機	120		147	148	148
医療・医薬	103		104	119	112
FPD	90		88	118	103
二次電池	105		100	111	105
国内主要業種合計	119		129	138	133

海外主要地域別	1Q予想 (105円/ドル)	2Q予想 (105円/ドル)	1Q実績 (109円/ドル)	2Q実績 (110円/ドル)	上期実績 (110円/ドル)
東アジア	116		149	132	141
東南アジア	100		122	127	124
海外合計(欧米含)	111		142	132	137

前年通期実績比: ( 110~  100~109  90~99  80~89  ~79)

機器 市場別 下期予想

※前年通期実績比

(単位:%)

国内主要業種別	1Q実績	2Q実績	上期実績	下期予想	上期対比
半導体	133	146	139		
自動車	118	111	114		
工作機	147	148	148		
医療・医薬	104	119	112		
FPD	88	118	103		
二次電池	100	111	105		
国内主要業種合計	129	138	133		

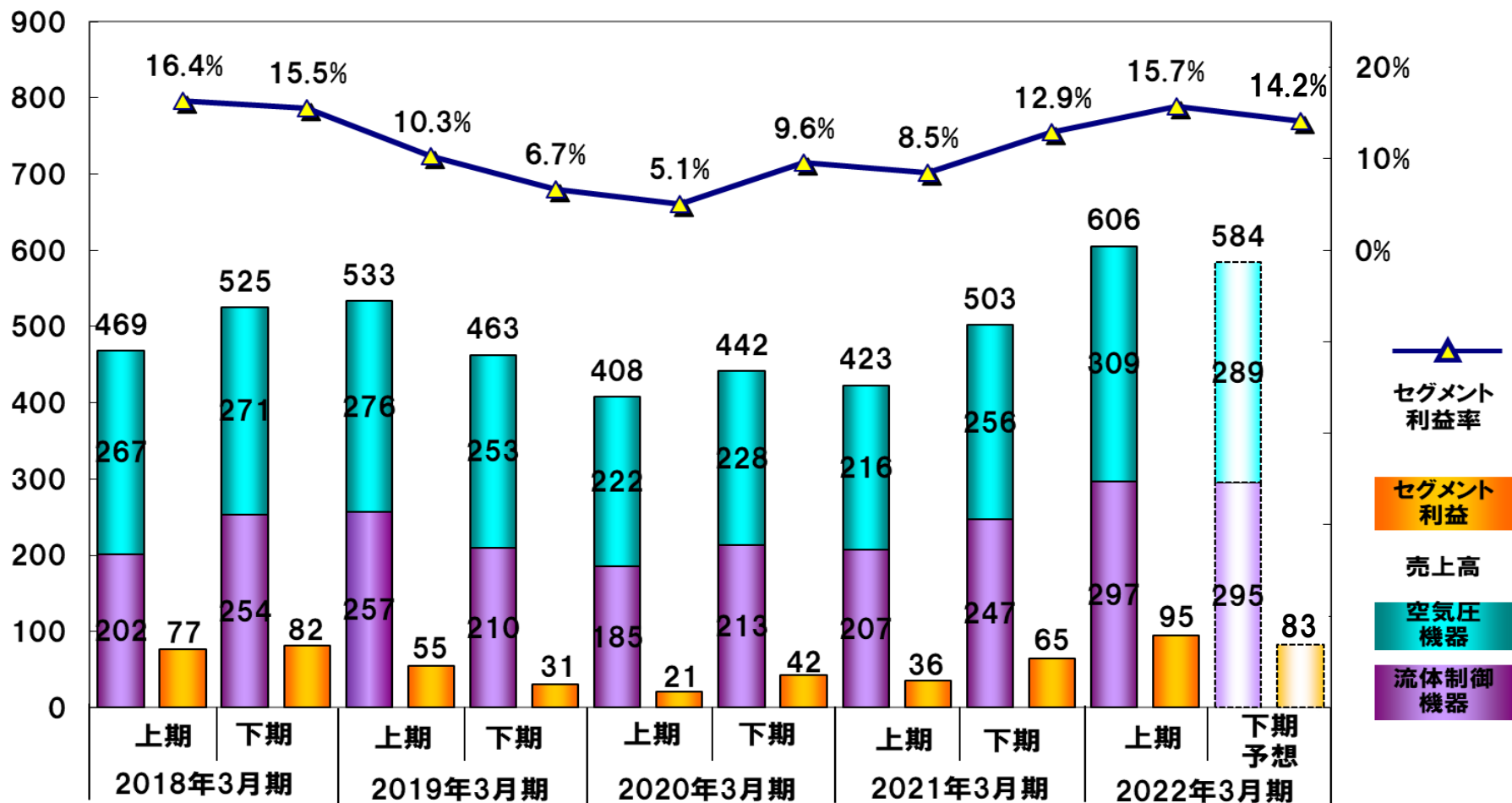
海外主要地域別	1Q実績 (109円/ドル)	2Q実績 (110円/ドル)	上期実績 (110円/ドル)	下期予想 (110円/ドル)	上期対比
東アジア	149	132	141		
東南アジア	122	127	124		
海外合計(欧米含)	142	132	137		

前年通期実績比:(110~ 100~109 90~99 80~89 ~79)

機器 業績予想

2022年3月期	売上高	セグメント利益	セグメント利益率	()は前年同期比
下期予想	584億円 (+81)	83億円(+18)	14.2%(+1.3)	
通期予想	1190億円(+264)	178億円(+77)	15.0%(+4.1)	

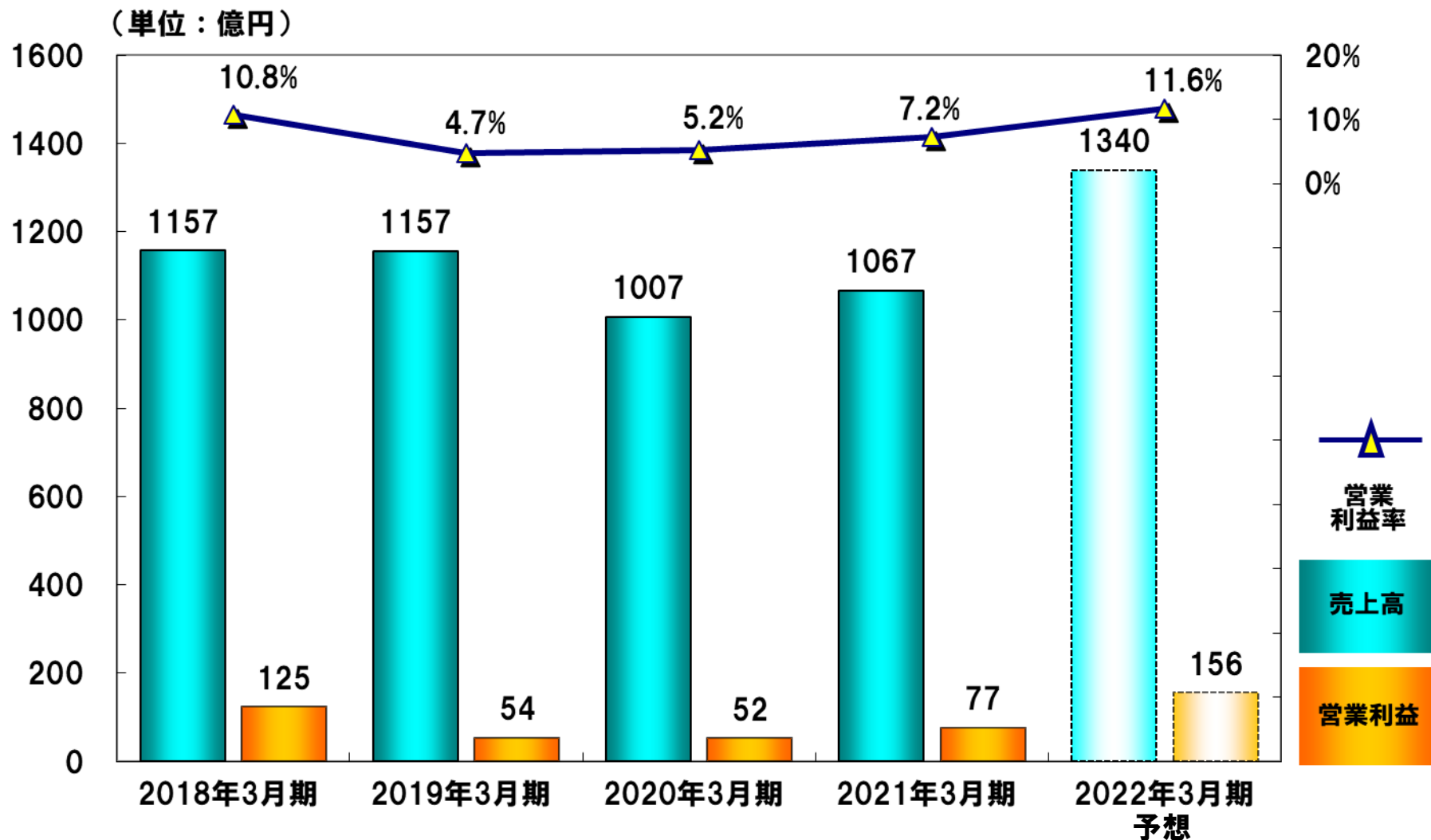
(単位：億円)



全社 業績予想

2022年3月期	売上高	営業利益	営業利益率
下期予想	662億円 (+94)	70億円(+17)	10.6%(+1.3)
通期予想	1340億円(+273)	156億円(+79)	11.6%(+4.4)

() は前年同期比



全社 業績予想

(単位：億円)

	'21/3月期 業績	'22/3月期 業績予想 (11/12)				
		上期実績	下期予想	通期予想	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高 全体	1,067	678	662	1,340	+ 273	+ 26%
自動機械	142	72	78	150	+ 8	+ 6%
機 器	926	606	584	1,190	+ 264	+ 29%
営業利益 (営業利益率)	77 (7.2%)	86 (12.7%)	70 (10.6%)	156 (11.6%)	+ 79	+ 103%
自動機械 (セグメント利益率)	17 (11.7%)	10 (13.8%)	8 (10.3%)	18 (12.0%)	+ 1	+ 9%
機 器 (セグメント利益率)	101 (10.9%)	95 (15.7%)	83 (14.2%)	178 (15.0%)	+ 77	+ 77%
経常利益	78	87	70	157	+ 79	+ 101%
当期純利益	53	61	47	108	+ 55	+ 105%

業績予想の修正

(単位：億円)

	上期実績	下期			通期			
		前回予想 (8/11)	修正予想 (11/12)	対予想比	前回予想 (8/11)	修正予想 (11/12)	対予想比	
売上高	全体	678	615	662	108%	1,280	1,340	105%
	自動機械	72	75	78	103%	150	150	100%
	機器	606	540	584	108%	1,130	1,190	105%
営業利益		86	60	70	116%	145	156	108%
経常利益		87	61	70	116%	146	157	108%
当期純利益		61	41	47	115%	100	108	108%

前回予想(8/11)を修正いたします

通期売上高は 60億円上方修正し 1,340億円

通期営業利益は 11億円上方修正し 156億円

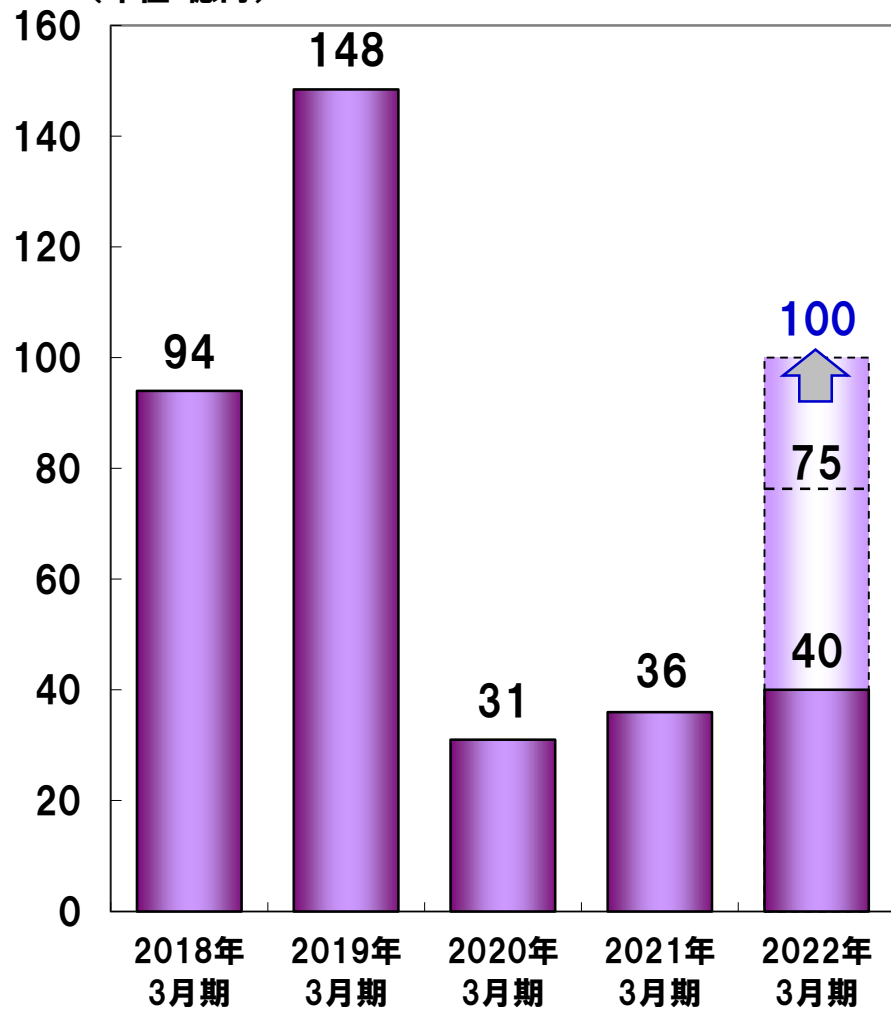
投資



投資

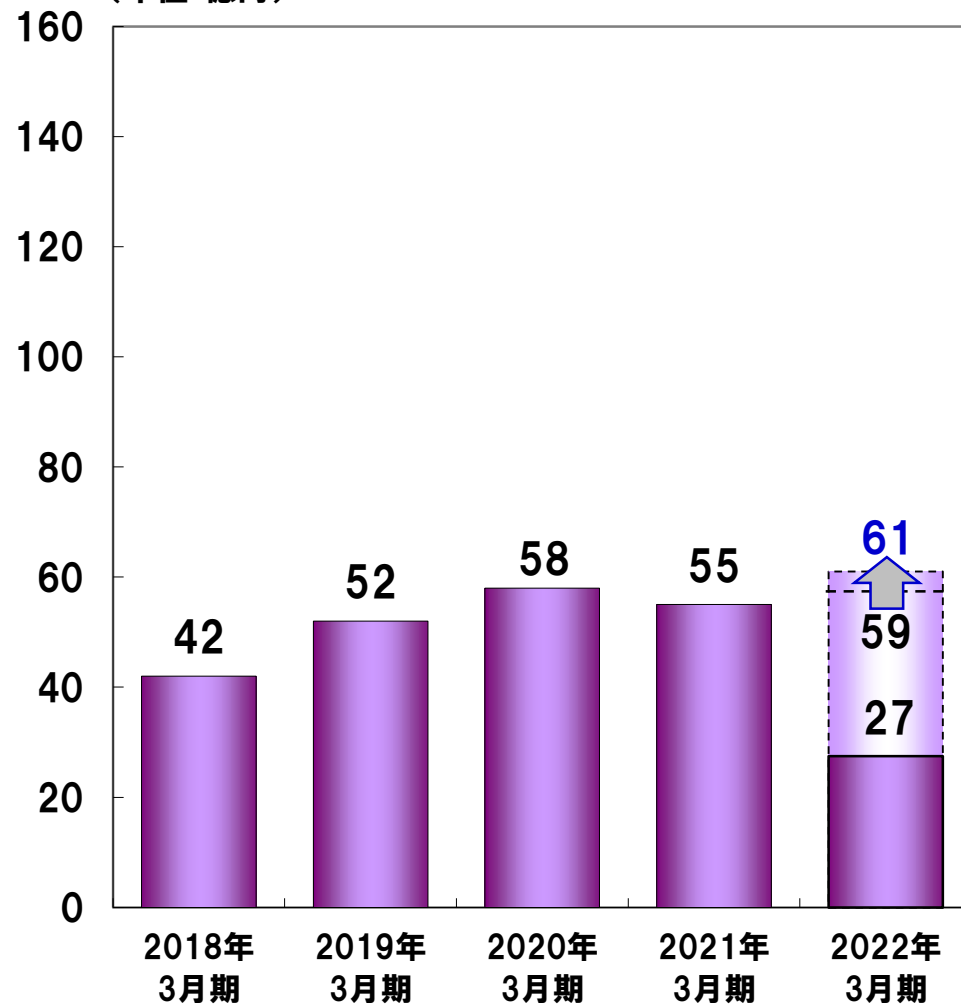
設備投資

(単位:億円)

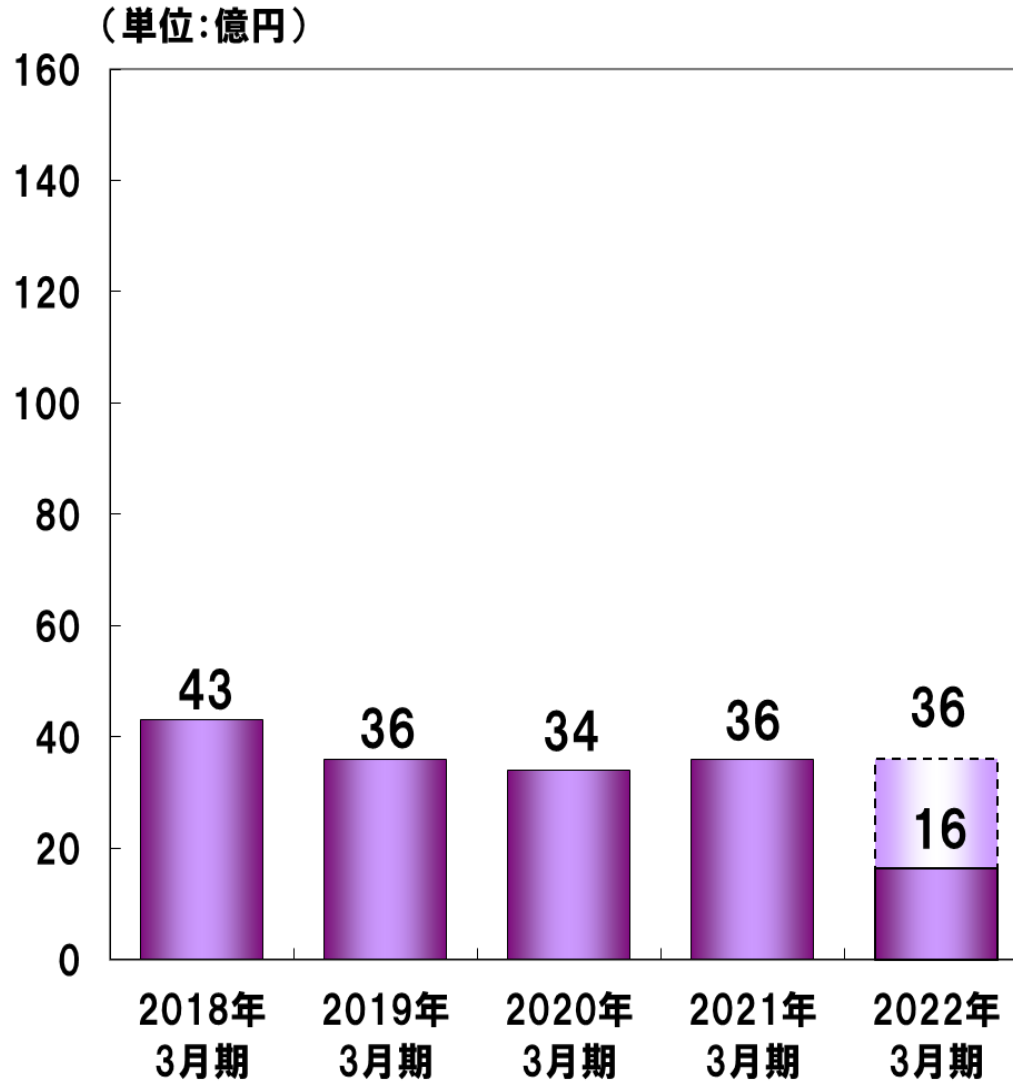


減価償却

(単位:億円)



研究開発投資

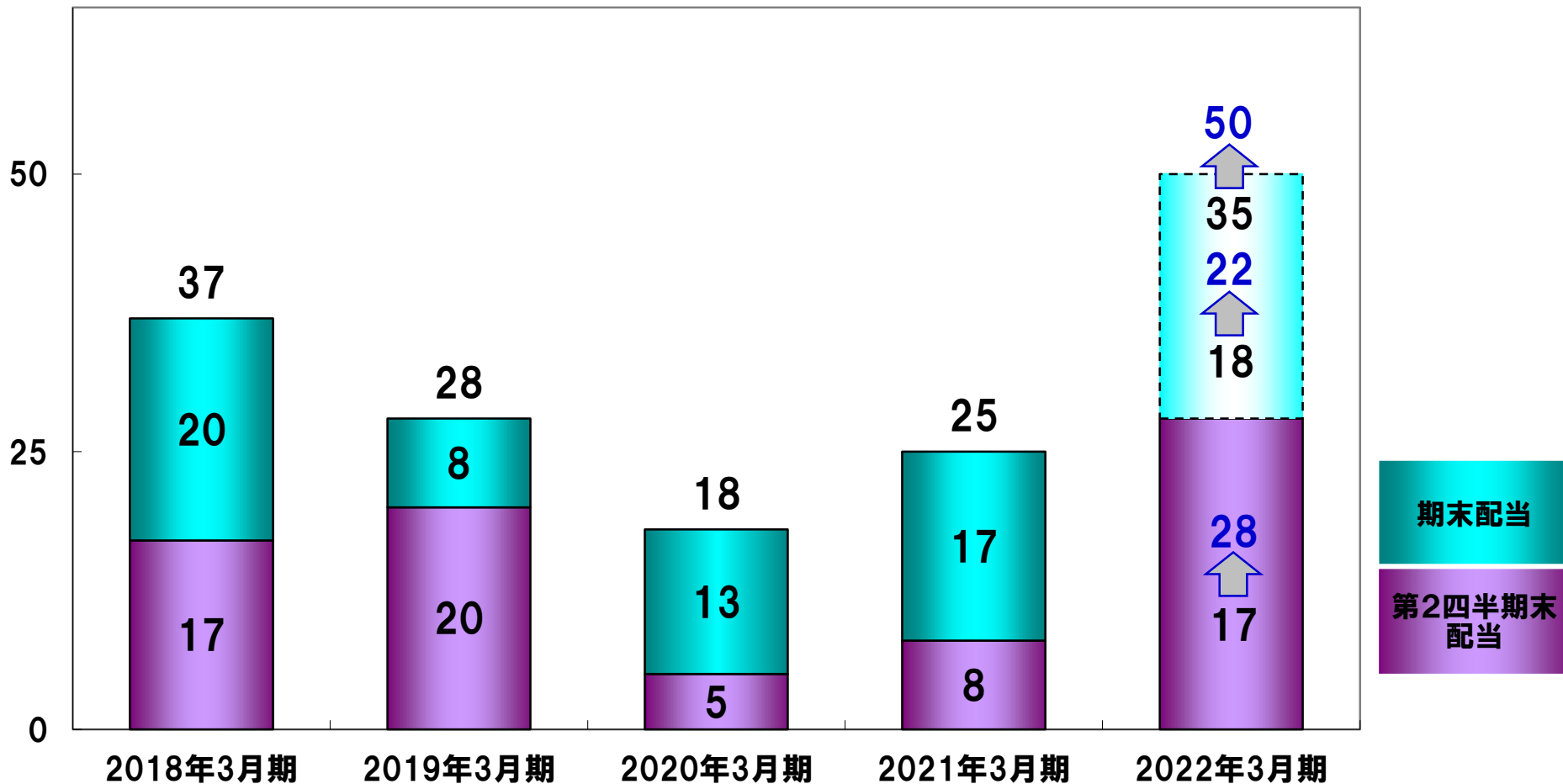


株主還元



2022年3月期配当 第2四半期末配当 1株につき 28円

(単位:円)



トピックス

- 自動機械
- 機器



■ 中国医薬品市場向け薬品包装機

2021年上期 2台受注



FBP-300W

生産能力:3,000錠/分

中国現地生産で日本品質を実現

2022年1月 中国専用機 第2弾 を発売予定



FBP-600W

生産能力:6,000錠/分

FBP-300Wの開発コンセプトをそのままに生産能力UP

■ 透明体検査装置 IS-UVCL01



2021年3月発売済



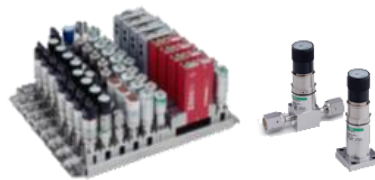
「健康福祉・バイオ・医療機器部品賞」受賞

- ・特殊光源の使用により、透明体の可視化が可能
- ・用途を限定しない検査モジュール販売

新しい商品で新たな市場を開拓し、売上拡大につなげる

機器 生産増強①

■ 東北工場



流体制御機器

■ 春日井工場



流体制御機器



8月末 クリーンルーム増床完了



組立・加工ライン増強中



■ 四日市工場



空気圧機器

■ 中国工場



電動機器・空気圧機器



自動組立ライン 設備増強完了



組立ライン増強中



旺盛な需要に対応する生産増強を進め、安定的な生産体制を構築

機器生産増強②

■ 北米新工場

CKD USA Austin Manufacturing



開発
サンノゼ
販売
シカゴ
生産
テキサス州

現在



新型コロナウイルスによる着工遅れを巻き返し、2022年3月竣工に向けて準備中

機器 生産増強③

タイ工場 (CKD THAI Corporation)

隣接不動産を取得

敷地面積: 22,000㎡

延床面積: 15,000㎡



CKDタイ工場

既存工場に隣接

所在地 : チョンブリ県AMATA工業団地内

不動産 : 2021年11月取得

取得額 : 11億円

稼働予定 : 2022年2月

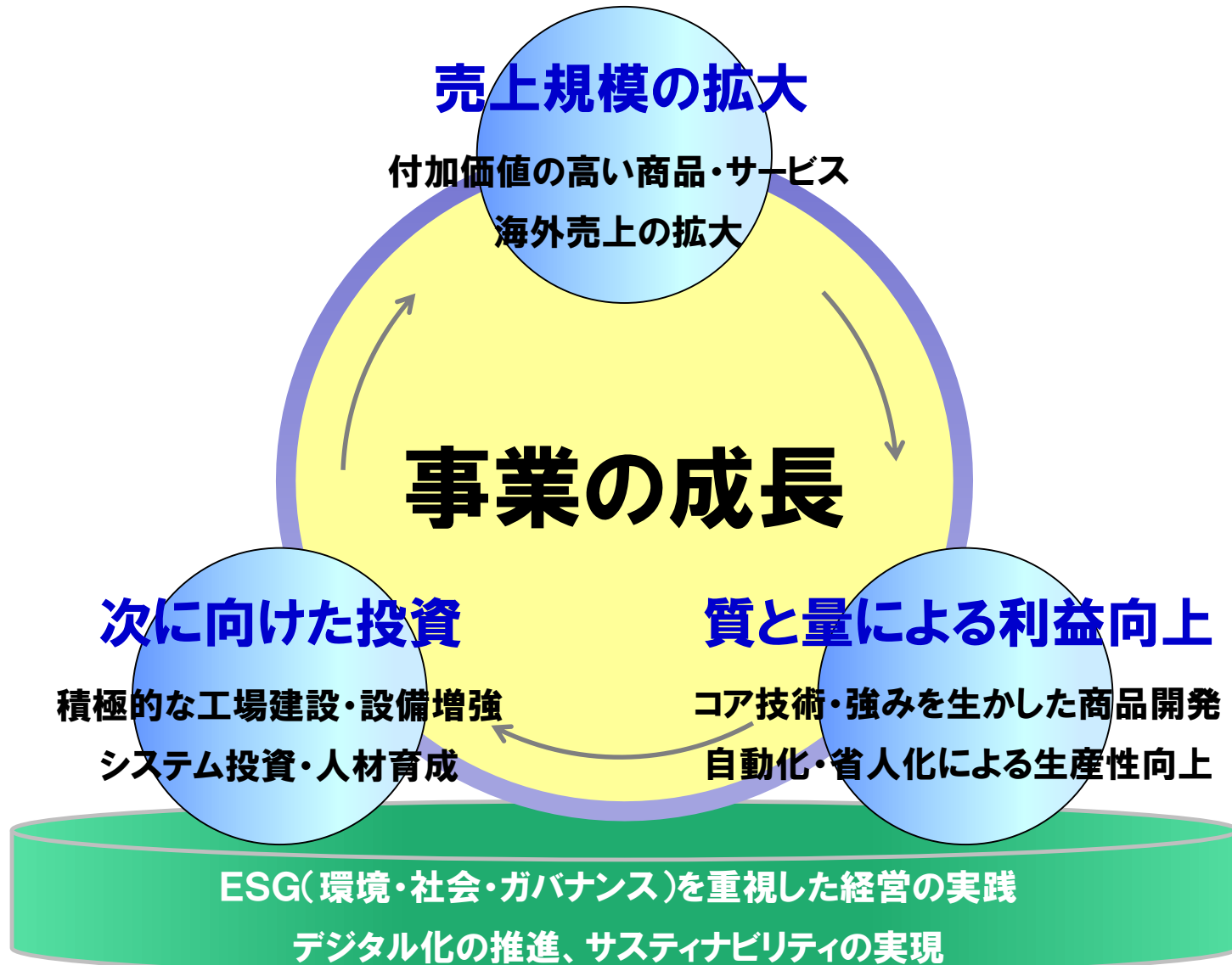
生産品 : 流体制御機器 (汎用品)

流体制御機器の量産とグローバル部品供給拠点として生産増強

企業価値向上に向けた取り組み

- 事業の成長
- ESGの取り組み





売上拡大に加えて質と量による利益向上で事業の成長につなげる

売上規模の拡大



新商品 自動機械

新市場

中国市場向け薬品包装機、透明体検査装置、遠隔操作システム



デジタル・ソフトウェア

画像処理プログラミングツール

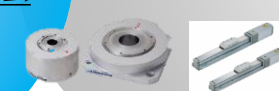
IoT・ネットワーク

無線、TSN、IO-Link対応商品

機器

環境負荷低減

高耐久シリンダHPシリーズ



電動アクチュエータ

バリエーション拡充



ライフサイエンス

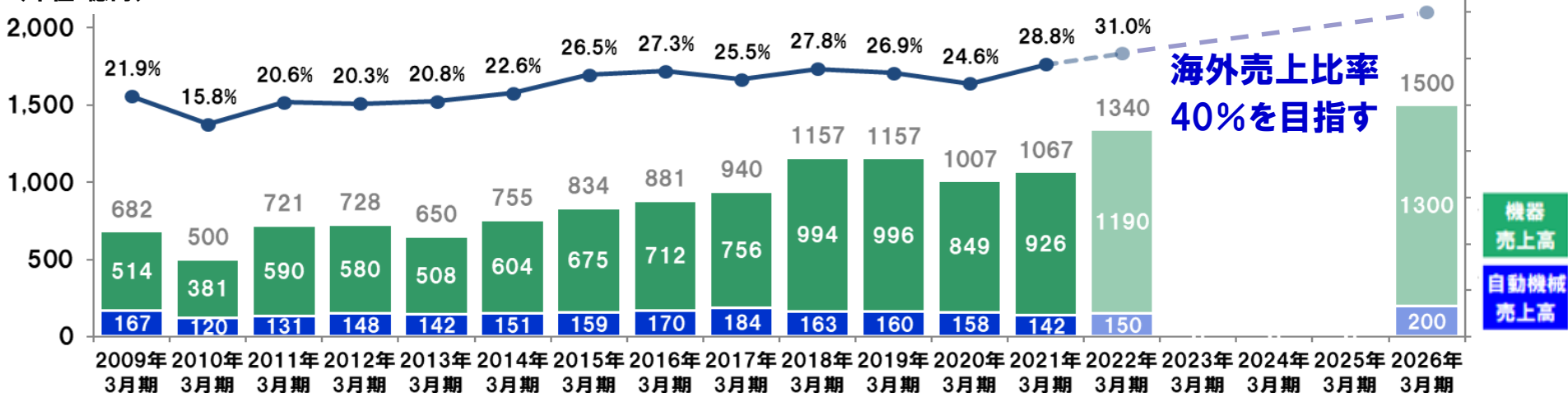
窒素ガス精製ユニット、抗菌・除菌フィルタ



半導体向け

最先端プロセスに対応

(単位:億円)



海外売上比率
40%を目指す

付加価値の高い商品・サービスによるFAトータルソリューションを展開

質と量による利益向上①

■ コア技術・強みを生かした商品開発



開発プロジェクト制



品質保証

【差別化商品】

- 強みを生かす（高精度・高耐久）



- ユニット・システム化



- デジタル・ソフトウェア・ネットワーク



お客様と結合した市場ニーズの探索



差別化商品による市場拡大と利益向上を推進

質と量による利益向上②

■ 自動化 先進的な「人にやさしい」工場



自動倉庫



物流ライン



AGV(無人搬送車)



自動洗浄



自動加工機



自動組立ライン

■ 省人化 既存工場の増産対応と品質確保



自動巻線機



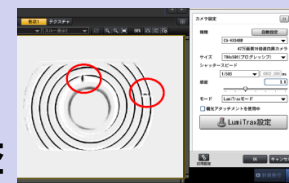
自動加工機



半自動組付機



自動寸法検査



自動外観検査

自動化・省人化による生産性向上

次に向けた投資



需要の拡大を捉え、次に向けた積極的な設備投資を行う

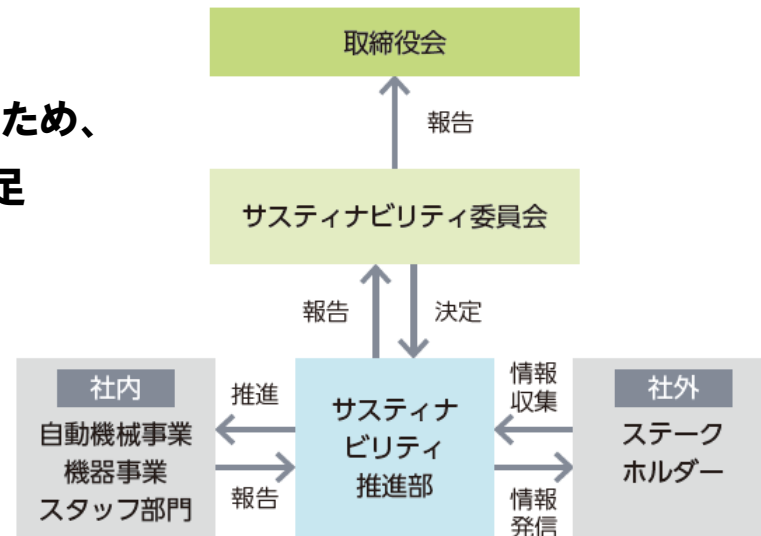
ESGの取り組み①

■ サステナビリティ推進体制

- ・事業活動を通して地球環境や豊かな社会づくりに貢献するため、サステナビリティ委員会及びサステナビリティ推進部を発足



- SDGs推進
- ESG情報の発信 など



■ 女性活躍推進

・行動計画期間

2021年4月1日～2023年3月31日（2年間）

・目標

2022年度までに女性管理職比率 3%

全従業員の有給休暇取得率 平均65%以上



女性社員向け研修



社内託児所
Ohana nursery school

ESGの取り組み②

CO₂排出量削減目標

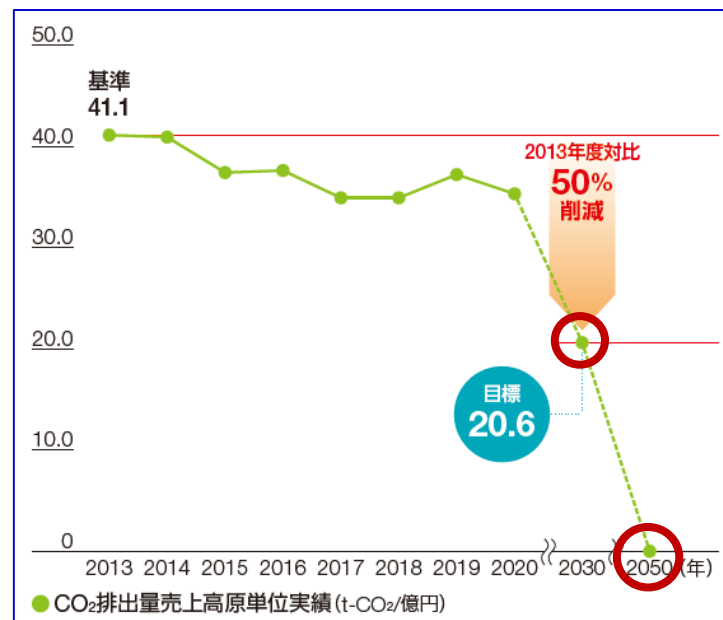
- ・2030年度 CO₂排出量 売上高原単位 50%削減
(2013年度対比)
- ・2050年度 CO₂排出量 実質ゼロ

- 「削減方策」
- 徹底した省エネルギー改善の推進
 - 再生可能エネルギーの拡充
 - CO₂フリーエネルギーの活用



太陽光発電システムの導入

グリーン電力



「CO₂排出量削減実績および中長期目標」

環境負荷低減商品の開発

- ・機器の長寿命化によるお客様の生産性向上や産業廃棄物の削減につながるなど、環境負荷低減を意識した商品を開発し、SDGsの達成に向けて貢献してまいります。



高耐久シリンダ



窒素ガス精製ユニット



目標を設定し、サステナビリティへの取り組みを推進

CKD

Automation Technology for the Future

【資料取り扱い上の注意】

将来見通しに関する注意事項

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

数字の処理について

記載された金額は単位未満を四捨五入、比率は円単位で計算した結果を四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。